

令和2年第9回定例教育委員会会議議事録

会議室301・302

令和2年8月19日(水)

15時30分～16時55分

出席委員

教育長

計田春樹

教育長職務代理者

今村保恵

委員

長谷川武司

委員

高橋正明

委員

田原知江

事務局

部長

木村敏男

次長兼教育振興課長

石原洋

学校給食課長

沖克哉

学校教育課長

山垣内理恵

生涯学習課長

岡本克則

スポーツ振興課長

紙田敬久

文化課長

花本秀之

学校教育課指導主事

村上直子

書記 教育振興課総務企画係長

三信裕司

書記 教育振興課主査

大村寿行

議	題
三教委議第41号	令和3年度三原市立学校隣接校選択制度の受入人数について（公開）
三教委議第42号	令和3年度三原市小規模校入学及び転入学並びに編入学特別認可制度の受入人数について（公開）
三教委議第43号	三原市宇根山家族旅行村設置及び管理条例施行規則の一部改正について（公開）
三教委議第44号	今後の三原市歴史民俗資料館のあり方について（公開）
三教委議第45号	令和3年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択について（公開）
三教委議第46号	令和3年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書のうち特別支援学級において使用する教科用図書の採択について（非公開）
三教委報第15号	県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について（非公開）

計田教育長 令和2年第9回定例教育委員会会議を始める。

本日の議事録署名委員は、長谷川委員と田原委員にお願いする。

それでは、令和2年第7回定例教育委員会会議及び同年第8回臨時教育委員会会議の議事録の朗読を簡潔にお願いする。

書記（令和2年第7回定例教育委員会会議及び第8回臨時教育委員会会議の議事録を簡潔に朗読）

計田教育長 議事録を承認してよろしいか。

（一同承認）

計田教育長 議事録の承認については、以上である。

計田教育長 それでは、議事に入る。本日の議案・報告事項のうち、「三教委議第46号」並びに「三教委報第15号」は公開になじまないため、非公開として審議したいと思う。また、審議の順については、次第に沿って審議したいと思うが、よろしいか。

（一同承認）

計田教育長 それでは、そのように取り扱う。それでは、「三教委議第41号」について事務局から説明願いたい。

山垣内学校教育課長 9ページ三教委議第41号「令和3年度三原市立学校隣接校選択制度の受入人数について」は、令和3年度三原市立学校隣接校選択制度を実施するに当たり、三原市立学校隣接校選択制度実施に関する要領第5条により、受入人数を次のとおり決定するものである。10ページ提案理由は、令和3年度の三原市立学校隣接校選択制度を実施するに当たり、学区内の児童生徒数及び各小・中学校の施設状況を踏まえ受入人数を決定する必要があるためである。

計田教育長 説明を受けた。何か質問や意見はあるか。

（なし）

計田教育長 以上で本件の審議を終わり、採決に移る。「三教委議第41号」について、原案どおり可決することに異議はないか。

（異議なし）

計田教育長 全員賛成と認める。よって「三教委議第41号」は原案どおり可決された。

計田教育長 続いて、「三教委議第42号」について、事務局から説明願いたい。

山垣内学校教育課長 11ページ三教委議第42号「令和3年度三原市小規模校入学及び転入学並びに編入学特別認可制度の受入人数について」は、令和3年度三原市小規模校入学及び転入学並びに編入学特別認可制度を実施するに当たり、三原市小規模校入学及び転入学並びに編入学特別認可制度要綱第5条により、受入人数を次のとおり決定するものである。提案理由は、令和3年度三原市小規模校入学及び転入学並びに編入学特別認可制度を実施するに当たり、実施校の特色ある教育活動の推進及び複式学級の定員を踏まえ受入人数を決定する必要があるためである。

計田教育長 説明を受けた。何か質問や意見はあるか。

長谷川委員 この小学校は、地域の住民にとって、なくてはならない大事な学校だと思

うが、新入生が今年は1名で、この制度等を利用して転入学された方も数名。全校15名の在籍だということ認識している。そのうち島内から通っている子どもは3名くらい、島外からは十数名ということで、さきほどの隣接校の選択もそうだが、特別認可制度のメリット、教育的な特徴、特色ある教育活動の推進というのがあると思う。三原市として、三原市全体にこのことをどういうメリットがあって、どういう良さがあるというような積極的なPRというのは、現在どのように行っているのか聞かせてほしい。

山垣内学校教育課長 小規模校入学及び転入学並びに編入学制度については、ここで想定されている鷺浦小学校は、まず豊かな自然環境と恵まれた小規模の小学校ということで対象施設としており、やはり少人数ということで、きめ細やかな学習指導や児童一人一人の能力を最大限に伸ばすような教育が展開できている。また、島の自然を活かした体験活動や地域の方との交流活動には力を入れている。そういうことで鷺浦小学校の教育活動をぜひという保護者のご意見により入学を希望される方というのは、今年は1名だが、ここ近年は増加の傾向にある。

長谷川委員 そのようなメリット、子どもにとっては、いい教育が提供できることを継続してPRしていく必要があると思うので、よろしくお願ひしたい。

計田教育長 その他、質問や意見はあるか。

(なし)

計田教育長 以上で本件の審議を終わり、採決に移る。「三教委議第42号」について、原案どおり可決することに異議はないか。

(異議なし)

計田教育長 全員賛成と認める。よって「三教委議第42号」は原案どおり可決された。

計田教育長 続いて、「三教委議第43号」について、事務局から説明願ひたい。

岡本生涯学習課長 12ページ三教委議第43号「三原市宇根山家族旅行村設置及び管理条例施行規則の一部改正について」は、この宇根山家族旅行村は、三原市の久井町にあり、オートキャンプ場・デイキャンプ場等の施設を兼ね備えている。この度の規則改正は、利用申請に係るもので、利用申請の手続きに関するものと利用許可様式の変更についての2点である。12ページに改正の内容を記載しており、次の13ページ、14ページで、改める様式を示している。説明については、16ページの新旧対照表で行う。まず、先ほどの1点目の利用申請の手続きに係るもので、本規則の第3条の第2項にある利用申し込みの期間について、現行では、利用日の3箇月前から5日前までだが、改正案では、利用日の3箇月前からとするとし、利用当日までの申し込みを可能とするものである。また、同条の4項にある祝日については、利用申し込みをすることが出来ないと現行ではあるが、現状の運用では祝日についても利用申し込みを受け付けることが可能であることから、同項を削除するものである。これらの改正に係る提案理由については、前ページ、15ページに記載している。この施設は公民館・コミセンといった屋内施設とは違い、屋外施設で天候の影響を受けやすいことから、当日までの利用申し込みを可能とし、利用者の利便性を向上させるためのものとしている。次に改正2点目だが、利用申請時に用いる利用申請書と利用許可書の様式の第1号・第2号を変更するものである。変更後の様式は13ページ・14ページで示しており、現行の様式は示していない。

が、現行の様式では、使用区画の1日あたりの料金や使用料金の合計額が分かりやすく記載できないといった様式であった。それらを改善するため、それら内容を申請者に明確に示すことが出来るように変更するもので、より適切な事務処理が行えるよう見直しをするものである。

計田教育長 説明を受けた。何か質問や意見はあるか。

高橋委員 改正案に示されているように、利用者にとってはより利用しやすいという趣旨で改正されるのは、大変いい方向性かなと思う。少し気になるのは、昨年あるいは一昨年の利用状況、最近はコロナの関係で比較出来ないかもしれないが、こういった施設の利用状況というのはわかるか。

岡本生涯学習課長 利用者の人数を統計で取っており、家族旅行村については、昨年度は2,309名が利用している。一昨年平成30年は豪雨災害の関係があったが、その年は1,648名と若干少なくなっている。その回復で昨年度2,309名になっている。今年度については、集計途中であるが、4月から6月までで、227名でコロナウイルスの関係でこちらの施設を4月15日から5月20日まで臨時休館という形で取り扱いを行ったところである。これから徐々に利用者が増えていくことを期待している。

長谷川委員 様式によって申請を行い、許可書をもらうという中で、やむを得ず申し込みを事前にキャンセルした場合に、キャンセル料等はどうなるのか。

岡本生涯学習課長 宇根山家族旅行村の利用については、事前の予約ということで、仮予約になり、これは生涯学習課と土日の開村日に現地の受付で予約を受け付けている。実際、本受付は利用日に行うので、利用日と同時に利用料金を納めてもらうことになるため、キャンセル料が発生するという事はない。

計田教育長 その他、質問や意見はあるか。

(なし)

計田教育長 以上で本件の審議を終わり、採決に移る。「三教委議第43号」について、原案どおり可決することに異議はないか。

(異議なし)

計田教育長 全員賛成と認める。よって「三教委議第43号」は原案どおり可決された。

計田教育長 続いて、「三教委議第44号」について、事務局から説明願いたい。

花本文化課長 17ページ三教委議第44号「今後の三原市歴史民俗資料館のあり方について」は、今後の三原市歴史民俗資料館のあり方について、別紙のとおり三原市歴史民俗資料館等運営協議会に諮問するものである。提案理由については、三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例第4条の規定に基づき、諮問をするためである。18ページが諮問書であるが、諮問事項については、今後の三原市歴史民俗資料館のあり方についてである。諮問理由については、三原市歴史民俗資料館は、郷土の歴史と文化に対する住民の知識と理解を深めることを目的として昭和51年に開館をした。資料の収集、調査、保管と常設展示、企画展、講座の開催等を43年にわたり継続してきた。この間、「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」が示され、当館の役割や機能の再検討が必要となった。したがって、当館が所蔵する資料の活用をし、よりよい施設としていくため、あり方について三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例第4条の規定に基づき、

諮問するものである。検討期間は、概ね3か月程度としている。

計田教育長 説明を受けた。何か質問や意見はあるか。

(なし)

計田教育長 以上で本件の審議を終わり、採決に移る。「三教委議第44号」について、原案どおり可決することに異議はないか。

(異議なし)

計田教育長 全員賛成と認める。よって「三教委議第44号」は原案どおり可決された。

計田教育長 「三教委議第45号」に入る前に、暫時休憩をする。

15時48分休憩

15時50分開議

計田教育長 それでは、会議を再開する。三教委議第45号「令和3年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択について」審議を行う。前回第8回臨時教育委員会会議において選定委員会会長から「令和3年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の選定に係る答申」を受け取り、報告を受けた。本日は、前回の報告を踏まえ、教科用図書の採択について審議し、三原市の子どもたちにふさわしい教科用図書を採択する。これから、中学校10教科・16種目について、種目毎に審議を行い、採択する。前回の教育委員会会議における選定委員会からの答申を尊重して、審議することとし、併せて、各委員からの意見を踏まえ採択したいと思うが、よろしいか。

(一同承認)

それでは審議に入る。第1種目目「国語」の審議を行う。採択する教科書として最もふさわしいのは、どの発行者のものとお考えか意見をお願いします。前に教科書があるので、随時見ながら意見をお願いしたい。

長谷川委員 教科書を見たが、どの発行者の教科書も非常に作り込みが素晴らしいと思う。読む・話す・聞く・書くの各領域に、非常に配慮がされていて、挿絵や漫画などいろいろな教育活動に結びつけた言語活動、あるいは授業の展開方法であるとか、よく作り込んである。特に、三省堂のものについては、教材の配列が、非常に見通しが持ちやすい、また、子どもたちがなぜ学ぶのかが分かりやすい、そして社会と自分との繋がりを意識することができる、そのような印象がある。したがって、三省堂が最もいいと思う。

今村委員 私は、光村図書のものは、QRコードが載っていたりして、そこからネットでHPに繋がったりとかどンドンリンクしていくことを選定委員会の方から聞いて、こう見たところ光村図書も非常に良いなと思う。

高橋委員 三省堂の教科書の中に、「つきたい力」という単元が構成されているということで、見通しが立てやすい、子どもたちにどんな力をつければ良いかという見通しが指導者としては立てやすい、そういった利点があるので、学習活動をする上で、大変やりやすいのではないかということで、三省堂が良いのではと思う。

計田教育長 今の意見では三省堂が二人だが、田原委員はどうか。

田原委員 私も開いた時の見やすさや字体等を見ると、三省堂が良いと思う。

計田教育長 それでは三省堂の教科書が良いという意見が多く出されたので、三省堂の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは「国語」は三省堂を採択する。続いて、第2種目目の「書写」の審議を行う。

長谷川委員 私自身、字を書くことに苦手意識があるのだが、やはりどの発行社も写真やイラストで非常に分かりやすくお手本が示されていて、とてもよく出来ているという印象である。生徒に美しい文字を書くとか、あるいは書くことの楽しさなど、三省堂の教科書については、学習を段階に割って表示してある。あるいは先生にとってみたら、指導段階の進みが分かりやすい。私みたいな苦手な生徒にも、丁寧な指導が出来るのではないかなという期待がある。したがって、子どもたちの学習意欲を喚起するのに最も有効な教科書はどれかという観点で私は見たが、やはり三省堂が一番だと思う。

田原委員 私も三省堂だが、学習を7段階で示しているの、ひとつひとつ丁寧に学ぶことが出来ると思ったので、こちらが良いと感じた。

計田教育長 三省堂が二人だが、よろしいか。

計田教育長 それでは「書写」については、三省堂の教科書がふさわしいという意見が多くあるので、三省堂の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは、第3種目目の「社会科の地理的分野」の審議を行う。

長谷川委員 これは随分迷ったが、やはり写真やイラスト・地図・図表など、どれが見やすいかなという観点で見た。特に東京書籍については、写真が非常に多く、実態をイメージしやすいことで良いと思った。しかし、むしろ数がたくさんあるよりも、適切な説明が多い方が良いかなとも思ったが、学ぶ力との関係があると思う。自学自習出来る力のある生徒には、東京書籍のものが一番良いかなと思っている。いかに現場で主体的な学習に取り込ませる工夫が必要かというのもあるが、東京書籍が良いのではと、迷った末に思った。

田原委員 帝国書院だが、教科書を開いた時の字の鮮明さ、写真の鮮明さで一番見やすかったの、こちらを選んだ。

高橋委員 帝国書院の中に、「確認しよう」「説明しよう」という項目がある。そうすることで、学習の目当て・方向性が分かりやすいということがひとつ。それから、写真あるいは地図・グラフの配置のバランスが良いのではないかという観点から、帝国書院が良いのではと思う。

今村委員 写真は本当に東京書籍が多いが、やはり高橋委員も言うように、單元ごとにまとめ方が表示してあって、学ぶ子どもたちは学習のイメージをしやすいのではないかなと思うので、私は帝国書院が良いかと思う。

計田教育長 社会の地理的分野については、帝国書院の教科書がふさわしいという意見が多く出された。帝国書院の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは、社会科の地理的分野については、帝国書院を採択する。続いて、第4種目目の「社会科の歴史的分野」の審議を行う。

長谷川委員 これも私は迷ったが、ぱっと見た感じは、日本文教出版が最も見やすい印象があった。そうは言っても、東京書籍は人物学習、社会科の中との繋がり、あるいは「みんなでチャレンジ・見方・考え方」という魅力もある。また、山川出版は内容の記述が詳細であるというイメージ。ただ、中学生にとって抽象的で分かりにくいというイメージもあった。迷ったが、ぱっと見たイメージで、私は日本文教出版が一番良いのではと思った。

高橋委員 日本文教出版の中に「深めよう」という項目、「確認」という項目がある。さらに考える、学習を深めていくという意味で指針になるというか、分かりやすいのではないかと考える。そういった深い学びに資するということで、日本文教出版が良いと思う。

計田教育長 それでは、社会科の歴史的分野については、日本文教出版の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 日本文教出版の教科書を採択する。続いて、第5種目目の「社会科の公民的分野」の審議を行う。

長谷川委員 私は学びやすさということを1つの観点で、各発行者のものを見させてもらった。例えば、自由社については、重要語句がゴシックで明示されていて、非常に分かりやすいというイメージを持った。また、東京書籍については、イラストの数がたくさんあって、社会科学の分野から事象を捉えてイラストを描いてあり、非常にこれもいいと思った。また、帝国書院については、学習の前に2枚のイラストの比較から、子どもの興味を引き出すような仕組みがあり、これも学びやすいのではないかと思う。そして、日本文教出版については、やはりイラストが多く、子どもたちが興味を持ちやすい、学びやすいのではないかなどの印象が一番強い。迷ったが、日本文教出版が一番良いのではないかという印象を持った。

計田教育長 それでは、社会の公民的分野は、日本文教出版の教科書がふさわしいという方が多いので、日本文教出版を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 続いて、6種目目は「社会の地図」の審議を行う。

田原委員 私は2冊見比べたが、見やすさで帝国書院が良く、色がとても鮮明なので、こちらを選ばせてもらった。

長谷川委員 個人的な意見だが、ぱっと見て地図の完成度が高いと感じたのは、帝国書院だと思う。

計田教育長 それでは、社会科の地図については、帝国書院の教科書がふさわしいという意見があったので、帝国書院の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 帝国書院の教科書を採択する。続いて、7種目目「数学」の審議を行う。

高橋委員 学校図書の教科書の中に、ノートあるいはレポートの具体的な書き方、子どもたちにとってこういうふうには書けばいいのではないかという例示がされている。そういった書く活動が充実しているので、学習しやすいのではないかという観点から学校図書がいいのではないかと。

長谷川委員 高橋委員がおっしゃったことは、非常に学校図書の魅力の1つとして感じた。別のもので数研出版は、別冊に探求問題が付属していて、これも非常にいいなと思った。また、東京書籍だが、日常生活の中の事象を数学的な学びに結び付けて、数学的な思考力を高めようという狙いが感じたので、ちょっと甲乙つけがたいが、私は東京書籍も非常に良いのではないかと考えている。

今村委員 私も高橋委員がおっしゃられた、板書の図であったり、文字とかも目に入ってきやすいし、社会でどのように生かされるかを紹介するというコラムも入っているので、私は学校図書がいいかなと思う。

田原委員 私も高橋委員がおっしゃたように、書き方とかがよくわかるので学校図書がいいかなと思う。

計田教育長 それでは、数学の教科書については、学校図書の教科書がふさわしいという意見が多いので、学校図書に採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 数学は学校図書の教科書を採択する。続いて、8種目目「理科」の審議を行う。

長谷川委員 まだ迷っているが、子どもたちが自学自習しやすいか、あるいは子どもたちが実験や考察に興味を持ちやすいか、問題発見や自己解決などに結びつきやすいかどうかという観点で見させていただいた。教育出版の教科書だが、実験や考察の答えが書いてあるので、よく授業展開の中で子どもたちが、あらかじめネットでこの実験について調べて、授業に臨むことも可能なので、むしろ実験や考察の答えが書いてある方が、子どもはむしろ見通しを持ちやすいのかなと思う。またそうだとしたら、逆に興味関心が持ちにくいのかなとも思い、迷っている。ただぱっと見た感じでは、対話的な仕掛けがあり、子どもたちが考えたことを自分の意見として出して、みんなで協議しようというようなことについての仕組みが、啓林館が一番良かったのではないかなと思う。ちょっと、どういう観点で選ぶかということが、自分の中で整理が出来ていないので迷っているが、啓林館の教科書の方が対話的な仕掛けがあるので、啓林館が一番良いかなと思う。

今村委員 東京書籍の細長い教科書でちょっと面白いなと思ったのが、左下に問題発見や構成、分析など、今自分が何をしているかが生徒にとっては分かりやすいのかなと思う。だが、持ち運ぶ時に、他の教科書と並べた時に、どう収まるのかなと思い、私としては、ある程度揃っている方が、カバンの中が整理しやすいし、形としてはいいかなと思う。内容については、先ほど言われた啓林館の方が、最後に「探究シート」「探究ラボ」という切り離せるプリントがついており、いろんな考え方を最後に整理できるのはすごくいいなと思った。

高橋委員 私も、どちらもそれぞれ良さがあるので、なかなか難しいが、子どもたちが学習を進めて行く上で、やった結果がどうなのか、振り返りの観点からして、啓林館の

そういった点は学習しやすいかなと思う。

計田教育長 それでは、理科については、啓林館の教科書がふさわしいということで、啓林館の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 続いて、9種目目「音楽（一般）」の審議を行う。

田原委員 教育芸術社だが、ポピュラーミュージックが多いので生徒に馴染みやすいかなと思ひ、そちらを私は選んだ。

今村委員 私は、姿勢とか呼吸について触れている部分があり、それはすごく大事だと思うので、そういうところもきちんと踏まえて、教科書を作っている教育芸術社の方が私は良いと思う。

長谷川委員 鑑賞の教材の方を私は主に見たが、やはりイラストや写真が多くあって、曲の背景や物語の人物など、夢が膨らむというか、生徒が楽しんで使える教育出版の方が良いかなと思う。ただ、鑑賞教材の中のワークシートが、教育芸術社の方が作り込みをきちんとしてあって、授業では使い勝手が良いと思うので、教育芸術社の方が良いかなと思う。

計田教育長 それでは音楽（一般）は、教育芸術社の教科書がふさわしいというので、教育芸術社に採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 続いて「10種目 音楽（器楽）」の審議を行う。

長谷川委員 どちらも学びのポイントが明記されており、分かりやすく親しみやすく、解説されている。本当に甲乙つけがたいが、どちらが学びのポイントが明らかかという観点で最終的には見ていったが、教育芸術社の方がポイントが明らかではないかと思った。

高橋委員 器楽合奏という観点から見た時に、具体的にどういうふうに演奏すれば良いのかがまずあると思うが、その時に打楽器のページに多くの種類の構え方や打法とかが掲載されている観点から、教育芸術社がより学習しやすいのではないかと、教育芸術社が良いと思う。

計田教育長 それでは音楽（器楽合奏）は、教育芸術社がふさわしいという意見が多いので、教育芸術社の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは、音楽（器楽合奏）は教育芸術社の教科書を採択する。続いて、11種目目「美術」の審議を行う。

長谷川委員 開隆堂と日本文教出版だが、折込ページや大型の図版がたくさんあって、私はすごいなと思った。ただ、今の子どもたちがどのように芸術作品の鑑賞に親しむとか、作品制作にかける時間的制約もあるだろうから、何が学びやすいのかなという観点で見ていくと、光村図書が良いかなと思う。作品によって紙質も変えたり、観る前の心構えや題材について、ちょっと面白くなる工夫がされているような受け止め方をした。光村図書が一番良いと思う。

高橋委員 それぞれ題材の始めの所で、鑑賞での対話、どのようなことを考えながら進

めていくかという所を扱っている観点から、光村図書が良いと思う。

計田教育長 美術について、光村図書の教科書が最もふさわしいという意見が多いので、光村図書の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは、光村図書の教科書を採択する。続いて、12種目目「保健体育」の審議を行う。

今村委員 開いた時に左側に説明があり、右側にはその補足や資料があり、上手にまとめていて、すぐに分かりやすい内容と思ったのは大日本図書である。それと学研教育みらいは、すぐ横にその資料が置かれていて、それも見やすいと思ったが、ぱっと見開いた時に、どこに視点がいくかという時に、迷うこともあるのではと思い、すっきりとして、教科書に視点がいくのは大日本図書のまとめ方がすごく良いなと思った。また、トピックスがあったり、上手にバランス良く見えたので、私は大日本図書が良いと思う。

長谷川委員 見開きページで、左側に本文があって、右側に資料で統一した書式のもので、うまくまとめてあるなと思う。見やすいということの観点で、私は大日本図書が良いと思う。

高橋委員 同じような意見になるが、ここにある資料の扱い方が見やすいというか、学習しやすい配列になっているので、大日本図書がいいと思う。

計田教育長 保健体育については、大日本図書の教科書が最もふさわしいという意見が多いので、大日本図書の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは、大日本図書の教科書を採択する。続いて、13種目目「技術・家庭の技術的分野」の審議を行う。

長谷川委員 どの観点で見るか迷ったが、ひとつの物を作るとか、そういった工程を踏む中で、必要な基本的な知識や技能、あるいはこの物を実際にどうする、やった後それが良かったのかどうか振り返る、そういうステップで考えると開隆堂のものが、ステップを踏んで、作業する上でも、子どもには理解しやすいかなとの印象を受けている。ただ非常に迷っており、私の中では開隆堂かなと思っている。ただ、東京書籍のものも、当然のことながら安全性、あるいは環境への負荷、生産性、経済性とそういったものを観点にしており、作業工程だけを見ると、大きな写真を掲載して分かりやすく説明しているのは、東京書籍かなともちょっと思っている。ただ、総じて私は、開隆堂の方がちょっと良いかなと思う。

今村教育長 私は、その写真と図ですごく丁寧に、技術はやっていかなければいけない授業なので、生徒にとっては分かりやすいかなと思う。思考ツールも表記しており、東京書籍がよいかなと。事例も結構たくさん載っており、いいかと思う。

高橋委員 迷っているというか迷ったのだが、学習内容の中に、問題解決として複数の問題解決過程を載せている、そういった所は目新しい観点ではないかと考え、東京書籍が良いのではないかと思う。

田原委員 私は東京書籍と思っている。紙質や下の方に「まとめよう」や「工夫」とかいろいろ書かれているので、良いかなと思う。

計田教育長 それでは、技術・家庭の技術的分野については、東京書籍の方が多いで、東京書籍に採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは、東京書籍の教科書を採択する。続いて、14種目目「技術・家庭の家庭分野」の審議を行う。

長谷川委員 内容とは関係ないが、今の音楽と器楽、書写、特にこの技術家庭については、こだわりがある訳ではないが、重複する学習領域がどうしてもあるし、同一の出版社を採択するのが良いのではないかと思ったが、他の委員はどう思われるか。

計田教育長 今の意見について何かあるか。

高橋委員 それぞれの各教科あるいは領域も、当然学習指導要領に基づいて編成されているはずなので、内容的にはどれも網羅されていると思う。したがって、やはりあとは配列であるとか、学習のしやすさとかそういう所をまず一意的に考えていけばいいかなと思う。

計田教育長 ということは、同一を前提に考えるのではなく、内容で判断し、結果的に同一になってもいいということによいか。同一でなければいけないという観点は外して、内容で結果がどうなるか。では、その観点でお願いします。

田原委員 東京書籍だが、きゅうりがこれだけで50gというふうに、このように目で見て分かるというのがはっきりしてて、分かりやすいと思ったので、東京書籍を選ばせてもらった。

今村委員 同じく、今おっしゃったほぼ実物大の写真であるからこそ、その量が分かりやすいという、写真の使い方も非常に良いと思ったので、私も同じ意見である。

高橋委員 東京書籍の分類の仕方も学習しやすいので、東京書籍が良いと思う。

計田教育長 それでは、「技術・家庭の家庭分野」について、東京書籍がふさわしいという意見が多いので、東京書籍の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 では、東京書籍の教科書を採択する。続いて、15種目目「英語」の審議を行う。

長谷川委員 学習指導要領に基づいて、今後4技能をマスターするという事にこだわって、少し見させてもらった。あるいは、英検を始め、さまざまな英語に関する資格取得との関連、そういったような観点から見させてもらった。特にどの教科書も素晴らしい印象があるが、学びやすさということをそれに加えると、東京書籍か光村図書のどちらかが良いかなと思っている。まだ迷っている。

高橋委員 長谷川委員の話にもある4技能の中でも、話す力が重視されてきているので、そういった意味から、言語活動の充実ということで、東京書籍がいいのではないかなと思う。

田原委員 私は東京書籍だが、光村図書と比べた時に写真が多い。イラストや写真が多く、他の教科につながるエジソンやそういう人達の写真もあり、他の教科につながるかなと思い、東京書籍を選んだ。

今村委員 教育出版の最後にカードがあったり、赤いシートを使って、自分でどんどん

勉強できるのは、すごく私は魅力的には感じたが、皆さんの意見も踏まえると、迷ったが、日常生活に関する題材も多いということで東京書籍がいいと思う。

計田教育長 それでは、英語については、東京書籍の教科書が多いと思われるので、東京書籍の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは、東京書籍の教科書を採択する。続いて、16種目目「道徳」の審議を行う。

長谷川委員 選定委員会の答申の際に、評価はどれがしやすいか質問したが、評価のしやすさについては、明確なものがなかったので、道徳的価値とか登場人物とか、またそのことで、子どもたちが社会の生活、社会生活のマナー、あるいは人をいじめてはいけない、そういったようなことをいかに考えることが出来るかという観点で見えていった。どの発行社のものも、非常に基礎観点から観ていくと本当によく作り込んであって、一番今学校で重要な問題となっている、いじめについての記述も各社非常に工夫している。また、情報機器との関連についても各社工夫がある。ただ、発問が子どもたち自身がいかに自分のこととして捉えるかとか、あるいは自己を見つめ直すきっかけになるだとか、発問の仕方が、光村図書が群を抜いて一番良いかなという印象がある。

今村委員 どうやって学ぶか、何故学ぶのかというのをちゃんと明記してあり、道徳を学ぶ意義をちゃんと述べられているので、光村図書がいいと思う。

高橋委員 資料というのがややもすると、自分との距離があって、中々自分自身の問題として、身近な問題として捉えにくいようなところがあると思う。光村図書は、随所随所に写真等取り入れて、身近な問題を取り上げながら、自分との距離を縮めていくというようなところがあるのかなというところから、光村図書がいいのかなと思う。

計田教育長 それでは、特別の教科道徳については、光村図書の教科書がふさわしいという意見が多いので、光村図書の教科書を採択してよろしいか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは、光村図書の教科書を採択する。これで全ての種目を終了したが、全体を通して、何か意見はあるか。

(意見なし)

計田教育長 この後、採択結果と採択理由を広島県教育委員会に報告する。本日の委員のご意見と選定委員会答申の所見をもとに採択理由を作成し、報告してもよろしいか。

(異議なし)

計田教育長 また、採択理由の最終確認は、私のほうに一任いただけるか。

(一同 異議なし)

計田教育長 それでは以上で「三教委議第45号」の審議を終了する。暫時休憩後、非公開にて審議する。傍聴者の方は退席をお願いします。

16時46分休憩

16時49分開議

(非公開案件審議後)

計田教育長 以上で第9回定例教育委員会会議を終了する。

16時55分 教育委員会会議終了
傍聴者7名

上記のとおり会議の顛末を記載し、その旨相違ないことを証すため、ここに署名する。

署名_____

署名_____